

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月13日

協議会名: 輪島市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
輪島市	おでかけバス安代原・西円山コース ※申請番号1	コロナ禍でも安心して利用できるよう車両内部に抗菌加工を施し、引き続き現行の料金体系及び便数を維持した。	A 計画通り事業は実施された	C 沿線住民の減少等により乗車人数は目標を達成できなかった 乗車人数 【目標】658人以上 【実績】609人 ⇒目標未達成 燃料費の高騰や車両修繕により運行コストは目標を達成できなかった 1kmあたりのコスト 【目標】157.23円 【実績】159.63円 ⇒目標未達成	急激な人口減少が進む中で、利用者の確保は困難な状況にあるが、利用促進のため、運行ダイヤ、他路線との接続等の周知等行う。 運行コストについては、老朽化で修繕箇所が増えている現状を踏まえ、車両の更新を含め検討を行っていく。
北鉄奥能登バス株式会社	のらんけバス城兼コース ※申請番号2	コロナ禍でも安心して利用できるよう車両の消毒を行い、料金体系及び便数を維持した。	A 計画通り事業は実施された	C 乗車人数は回復傾向にあるが、燃料費の高騰によりコストは目標を達成できなかった 乗車人数 【目標】577人以上 【実績】2,333人 ⇒目標達成 燃料費の高騰により運行コストは目標を達成できなかった 1kmあたりのコスト 【目標】249.04円 【実績】280.67円 ⇒目標未達成	急激な人口減少が進む中で、利用者の確保は困難な状況にあるが、利用促進のため、引き続き情報発信を行い、利用促進に向けて対応を検討する。 これ以上のコスト削減は困難であることから、便数の削減や路線の見直しを行う。